

白杵市長
中 野 五 郎 様

白杵市議会
議 長 梅 田 徳 男

白杵市議会建設産業委員会
委員長 内 藤 康 弘

ユネスコ食文化創造都市の推進に関する提言

平素は市政の発展に全力で取り組んでいただいております。心から感謝申し上げますとともに、市議会に対しましても格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

白杵市議会では、令和4年3月に制定した議会基本条例に基づき、市民と意見を交換する機会を設け、市民の多様な意見などをもとに、政策提言等を行う取り組みを行っています。

建設産業委員会では、本市が令和3年11月にユネスコ食文化創造都市に認定されたことを受け、関係する各種団体が置かれている現状や今後の推進のために必要となる施策を調査・検討するため、令和5年6月から令和6年3月にかけて、「白杵高校ユネスコ部」、「白杵市料飲店組合」、「ほんまもん農産物推進ネットワーク」及び「大分県漁業協同組合青年部白杵支部」の4団体との意見交換会を開催しました。

本市の食文化を継承並びに発展させていくためには、市民一丸となって取り組む必要があると考えています。そのためには、関係する団体から現場の声を聞き、それぞれが抱えている課題を一つずつ解消する必要があります。

各団体との意見交換会では、付加価値を付けた料理や食材等の情報発信、漁業従事者の人材不足、新規就農者の育成と確保及び農地の保全や斡旋の推進、各種団体が連携したネットワークによる販路拡大など、様々な課題や意見等が出されました。

このたび、これらを取りまとめましたので、下記のとおり提言いたします。

記

1. 2022年3月に策定された本市の食文化創造都市の推進計画である「白杵食文化創造都市推進プラン」は、今年度計画期間が終了することから、次期推進プランの策定にあたっては、より多くの市民が主体的に活動・活躍できるよう関係機関や各種団体との協力・連携し、これまでの取り組みをさらに強化するように検討すること。
2. 食文化を活用した持続可能なまちづくりの推進を図るため、これまでの取り組みに加え、「ほんまもん農産物」、「白杵ん地魚」、「うすきの地もの」など、一次、二次産品の情報発信やPR、販路拡大などの推進を強化する取り組みを検討すること。
3. 一次産業における後継者不足は、深刻な問題となっていることから、地産地消の推進

や技術の継承の観点からも、農林水産業の担い手の支援や農業の経営基盤強化、漁業の環境保全対策など持続可能な発展に向けたさらなる取り組みを検討すること。

4. 本市の食文化の魅力を市民に再認識してもらうために、学校での体験学習や家族で参加できるイベント等の開催、より若い世代を含めた幅広い市民の機運の醸成につながるよう情報発信の強化に向けた取り組みを検討すること。

以上